

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索



3月16日(土)

「忘れんで！！東日本大震災 みんなで歌おう！届け 地球風」

東日本大震災の記憶を風化させまいと企画されたこのイベント。会場となった虎姫文化ホールには多くの親子連れが訪れました。

この日のメインは大上留利子・ジェニファー・シラユリーズによるゴスペルライブで、観客も一緒になって歌を楽しみました。

最後には、地元の音楽家饗場公三さん作曲の被災者へのエールを込めた歌「地球風」を会場の全員が大合唱しました。

3月16日(土)

こころを育てる言葉

読み聞かせグループや図書ボランティアが所属し活動している「長浜市言葉を大切にすまちづくり推進協議会」が講演会と読み聞かせ発表会を開催しました。

この日は、長浜東ロータリークラブによる本の贈呈や、子どもと本との出会いをテーマにした講演、「朗読びわ」・「ジーバーぽこぽこ」の皆さんによる発表が行われ、訪れた人たちは熱心に耳を傾けていました。



3月17日(日)

ひと箱に詰めた思い

「季の雲ゲストハウス」で開かれた「ひと箱古本市」。市内をはじめ大津市や奈良県などから16人が出店し、多くの人で賑わいました。

イベントを企画したさざなみ古書店の店主中村恭子さんは、「本を通して様々な人と出会い、会話を楽しむのがなによりの目的。かばんに本を詰め、旅行気分に参加してもらえればうれしい」と話していました。

3月23日(土)

ありがとう東保育園 いつまでも忘れないでね

市立東保育園で、閉園式が行われました(平成24年度末で閉園)。あいさつに立った中村百合子園長は「思い出の場所がなくなるのは寂しいですが、全園児が立派に元気に巣立っていつてくれることを願っています」と話しました。

この後、園児たちの歌とダンス、スライドショーが披露され、園児や保護者らは、それぞれの思いを胸に見入っていました。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としています。市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも設置しています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報室まで。